

## 実は私... 東北3本の指に入る スイマーでした

第3中隊 石田 彬恵 1士

今後も自衛官としてふさわしい人間になれる様に頑張ります。

第3中隊迫撃砲小隊の副砲手として勤務する石田1士。実は彼、競泳競技において高校(山形中央高等学校在学)東北大会第3位、全国大会に出場した事もある実力派スイマーだった。彼はなぜ水泳に?それは1歳から始めたということもあり1番好きなスポーツだからという単純な理由だ。地元のスイミングスクールに泳ぎを覚えるために約10年、その後競泳の道に進んで8年間ずっと競泳に打ち込んできた努力は誰にも負けないと語る石田1士。現在は選手としては引退しているが、休みの日には自主練習にプールへ足を運んだりもしている競泳好き。



東北高等学校水泳競技大会 1500m自由形第3位!

そんな水泳少年がどうやって自衛隊に出会ったのだろうか?それは高校を卒業して専門学校に在籍している際に広報官から自衛隊の魅力を知り、自衛隊を志した。無事入隊を果たした水泳少年は119教育大隊(多賀城)に入隊、後期教育で20連隊教育隊へ、引き続き第3中隊に配置され迫撃砲小隊で勤務している。現在は与えられた任務に対し、真摯に向き合い確実丁寧にこなしつつ、大好きな水泳にも打ち込んでいる。



部活の仲間と撮影(一番左本人)

## 実は私... 野球で甲子園出場していました

第1中隊 齋藤 絢太 士長

野球で学んだ事を、自衛隊でも活かしたいと思い入隊したので、これからも部隊に貢献できる様に頑張っていきます。

第1中隊2小隊に所属し、通信手として勤務している齋藤士長。実は彼、高校2年生の時、ピッチャーとしてチームを秋田県大会優勝に導き、甲子園に出場している生粋の野球少年。齋藤士長が野球と出会ったのは小学校3年生の時、同級生の親御さんの誘いで地元のスポーツ少年団に入団し、彼の野球人生は幕を開けた。



ピッチャーとしてチームを甲子園出場に導いた

小学時代は4番ファーストで「全県大会」優勝、中学時代ではシニアリーグ(硬式野球)で東北大会出場。高校時代(明桜高校(秋田))はピッチャーとして、得意の「フォークボール」で数々の強敵を抑え、2年生の夏に「全国高校野球選手権大会」に出場、3年生の夏は、秋田県予選準優勝と数々の栄光を残している。そんな野球少年がどうやって自衛隊に出会ったのか?それは、高校で進路を決める際、彼女さんの父親が自衛官ということもあり、自衛官の魅力についてたくさん話を聞き、志すようになったそうだ。



県大会前に撮影した集合写真(3列目一番左が本人)

自衛隊に入隊し、中隊配置後は拳銃訓練隊に所属し日々の訓練に励んでいるが、コロナの影響もありまだ公式戦に出場経験がないそうで、コロナが落ち着き大会が開催された際には、選手として出場し結果を残したい!と力強く語っていた。今後の活躍に期待だ。

人気コーナー 2年振りの復活! 今年は4名の隊員を カミングアウト!

# 実は私... COMING OUT 私...

「実は私...」な経歴と、選手時代の貴重な写真、本人コメントを紹介します。

## 実は私... ウィンターカップ 全国大会に出場しました

重迫撃砲中隊 高橋 咲羽 1士

今年は今まで学んできた事を少しでも活かせるように、中隊で頑張りたいと思います。

重迫撃砲中隊に所属する高橋2士。実は彼女、帝京安積高等学校(福島)3年生の時、ウィンターカップ県予選で見事優勝、東京会場で行われた全国大会で戦った経験のある県内屈指のバスケットボールだった。そんな彼女は小学2年生の時に姉の影響でバスケを始め、中学時代は「県大会優勝」「東北大会3位」などの実績を持っていた。そんな輝かしい実績の裏にはとてつもない苦勞と努力があったそう。高校2年生の秋、台風19号が福島県に直撃、その影響により学校の体育館が床上まで浸水し練習がままならない絶望的な状況まで陥ったと話していた。そんな時「練習を再開して絶対全国大会に出場するんだ」と強い気持ちを持ち、仲間たちと体育館の床板の張り替えなど復旧作業に着手しつつ、別の体育館を借りて一生懸命に練習に取り組んでいたそうで、高橋2士は「そんな苦勞と努力があったからこそ全国大会の舞台に立てたことはとてもいい経験になった。」とコメントしていた。



果敢にシュート!!

彼女が自衛隊を知るきっかけとなったのはご両親の存在が大きく、父が現役の自衛官、母が元自衛官で、小さいころから自衛隊の活躍を目にしてきた事が理由だが、その他に台風19号の経験で、自宅は無事だったものの、自分の住む地域が被災した際、現地に派遣され活躍する自衛官を間近で見たほか、父も被災地に派遣され活躍する姿に感銘を受け、「私もバスケで培った体力を活かして人の役に立てる仕事したい。」と自衛官を志したそうだ。



地区大会後の集合写真(前列右から4番目)

現在高橋2士は、11月15日から2月18日までの間実施される「令和3年度初級らっば養成集合教育」に参加中で、らっば手として必要な知識及び技能の修得をするため、日々訓練に励んでいる。

## 実は私... スキーでインターハイ 2年連続出場しています

第4中隊 渋井 洋佑 3曹

第4中隊で小銃手として勤務している渋井3曹。実は彼、高校2年生、3年生のとき2年連続でインターハイに出場している。スキーとの出会いは仲の良い友人から誘われたという理由である。スキーは非常にキツイ種目であるが、そのキツさが逆にたまらなく癖になってしまっ、自衛隊に入隊した現在もバイアスロン訓練隊でスキーを続けている。



休日を全力で楽しむ渋井3曹

そんな渋井3曹がどうやって自衛隊に出会ったのか?それは広報官の話を聞いて自衛隊って素晴らしい(災害派遣の活動や営内者の衣食住、福利厚生など)組織だなと感じたというシンプルな理由である。いざ入隊してみると、災害派遣など舞台上で活躍し、メディアに映るような姿だけではなく、時には厳しい任務に遇進することもあり、不安を感じることもあるが上司、同僚たちと一致団結して任務を遂行できた時に、達成感や充実感を得ることで自分自身の成長を感じることができる。と語っていた。

スキーを続けてきて、全国で私のことを知らない選手はいなかったでしょうね!と言いたい所でしたが、現実はずいぶん楽しく悔しい思いをたくさんしました。しかし、スキーを通じて多くの事を学ぶことが出来ました。なので、今後は陸軍としてこの悔しさを連隊のスキー競技会にぶつけていきたいと思っています。